
■ インフォメーション 目次

- 01: 出展情報 (3件)
 - 02: 公募情報 (1件)
 - 03: イベント情報 (3件)
 - 04: プレスリリース (1件)
-



- 01: 出展情報 (3件)
-

- [1] 平成28年度 農商工連携マッチングフェア (再掲載)
1/25「食品・加工品等の展示・商談会」(甲府富士屋ホテル1階)
-

山梨県商工会連合会・県下商工会は、県内の中小企業支援機関及びJAと連携し、中小企業者や農林漁業者等が互いの経営資源や地域資源を活用して開発した商品等の商談や販路開拓、取り組みの紹介を中心とした「農商工連携マッチングフェア」を開催します。山梨大学 研究推進・社会連携機構も出展いたします。

○本フェアの目的と特徴

1. 山梨県の中小企業者や農林漁業者等が開発した商品等を一堂に会し、展示・紹介し、商談等に結びつける。
2. ビジネスパートナーとのマッチングを行い、新たな商品の開発や取り組みを促進する。
3. 会場内にバイヤー及びバイヤー経験者等による「個別商談会」コーナーを設置し、自社商品を直接バイヤー等に売り込む事ができる機会を設ける。(1事業所・20分間の商談 要申込)
4. 農商工連携・地域資源活用・新連携・6次産業化など国等の施策の紹介や相談に対応するコーナーを設置し、農商工等連携・6次産業化などの活動を促進する。

○日時：平成29年1月25日(水) 13:30～17:00

○場所：甲府富士屋ホテル 1階 グランドホール(昇仙閣)

〒400-0073 山梨県甲府市湯村3-2-30 TEL 055-253-8111

○当日のスケジュール

- 13:30～14:00 開会セレモニー
 - 14:00～17:00 マッチングフェア
-

- [2] 1/31(火)

JST 大学知財群活用プラットフォーム(PUiP) 新技術説明会

複数大学の特許や研究ノウハウをポートフォリオ化したものを「知財群」と呼んでいます。本説明会は、社会ニーズや市場動向から具体的な製品分野を選び、その分野に関連する特許等を集めた知財群について、企業に提案を行なうものです。

まず産学連携コーディネーターが製品分野とその知財群を紹介し、続いて研究者が知財群のキーとなる特許技術について説明します。

参加申し込み、詳細情報は JST ホームページを参照ください。
※https://shingi.jst.go.jp/kobetsu/chizaigun/2016_chizaigun.html

【日時】 2017 年 01 月 31 日(火) 10:00～15:55 (09:30 開場)

【会場】 JST 東京本部別館 1F ホール (東京・市ヶ谷)
https://shingi.jst.go.jp/kobetsu/yamanashi/2016_yamanashi/access.html

【参加費】 無料

【主催】 科学技術振興機構、大学知財群活用プラットフォーム (PUIP)

【PUIP 参加機関】

東京電機大学、宇都宮大学、埼玉大学、芝浦工業大学、
首都大学東京、株式会社信州 T L O、筑波大学、東京理科大学、
日本原子力研究開発機構、野村証券株式会社、山梨大学、横浜国立大学

【後援】 特許庁 【協力】 朝日信用金庫、巣鴨信用金庫

【プログラム】 2017 年 01 月 31 日(火) 10:00～15:55 (09:30 開場)

1) 10:00～10:25 知財群テーマ紹介 [環境]
「地球にやさしい住みやすい社会を実現する次世代環境技術」
東京電機大学 研究推進社会連携センター 研究推進部
産官学交流センター 研究コーディネーター／安江 準二

1-1) 10:30～10:55 [計測]
「空隙のある多層薄膜を用いた高感度ガスセンサ」
東京電機大学 工学部 電気電子工学科 教授／原 和裕

1-2) 11:00～11:25 [計測]
「煩雑な光学系の調整を必要としないレーザー干渉計の開発」
東京電機大学 工学部 機械工学科 教授／古谷 涼秋

1-3) 11:30～11:55 [通信]
「周囲環境の変化に影響を受けない光無線通信システム」
日本原子力研究開発機構 原子力科学研究部門
大洗研究開発センター 照射試験炉センター
研究副主幹／武内 伴照

1-4) 12:00-12:25 [環境]
「ホワイトバイオによる廃グリセロールからのポリマー原料生産
プロセスの開発」筑波大学 生命環境系(生命産業) 教授／中島 敏明

≪昼休み(65分)≫ 12:25-13:30

2) 13:30～13:55 知財群テーマ紹介 [医療・福祉]
「人々が健康で長寿な社会を迎えるための次世代医療技術」
信州 T L O 技術移転グループ 部長／勝野 進一

2-1) 14:00-14:25 [アグリ・バイオ]
「植物性食品由来の血中尿酸値低下に効果のあるサプリメント成分」
宇都宮大学 バイオサイエンス教育研究センター 特任教授／矢ヶ崎 一三

2-2) 14:30-14:55 [アグリ・バイオ]
「磁気を使って細胞を任意形状に配置する」
信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 准教授／秋山 佳丈

2-3) 15:00-15:25 [医療・福祉]

「簡単に作れる分子認識素子を用いたインスタントセンサ」
芝浦工業大学 工学部 応用化学科 教授/吉見 靖男

2-4) 15:30-15:55 [医療・福祉]

「新しい個別医療の実現を志向する自律動作マイクロ分析システムの開発」
山梨大学 工学域 機電情報システム工学系 助教/浮田 芳昭

※ 参加申し込み、詳細は JST ホームページを参照ください。

https://shingi.jst.go.jp/kobetsu/chizaigun/2016_chizaigun.html

[3] 3/1～3/3 FC EXPO 2017 ～第 13 回 [国際] 水素・燃料電池展～
(予告)

FC EXPO は、水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、および燃料電池システムが一堂に出展する国際商談展です。

事前登録&イベント詳細→ <http://www.fcexpo.jp/>

■会期： 2017 年 3 月 1 日 (水) ～ 3 日 (金)
10:00 ～ 18:00 (最終日は 17:00 まで)

■会場： 東京ビッグサイト
<http://www.fcexpo.jp/To-Visit/Venue-Info-Access/>

■出展社による製品・技術セミナー
http://www.r-expo.jp/wsew2017/exhiSearch/FC/jp/seminar_list.php

■同時開催展

第 10 回 [国際] 太陽電池展 ～PV EXPO 2017～

第 8 回 太陽光発電システム施工展

第 8 回 [国際] 二次電池展 ～バッテリー ジャパン～

第 7 回 [国際] スマートグリッド EXPO

第 5 回 [国際] 風力発電展 ～WIND EXPO 2017～

第 3 回 電力自由化 EXPO

第 2 回 [国際] バイオマス発電展

第 1 回 [次世代] 火力発電 EXPO

□■

■03: 公募情報

平成 28 年度第 2 次補正予算

「経営力向上・IT 基盤整備支援事業(次世代企業間データ連携調査事業)」
における実証プロジェクトの提案募集

中小企業庁では、平成 28 年度第 2 次補正予算「経営力向上・IT 基盤整備支援事業(次世代企業間データ連携調査事業)」における実証プロジェクトの提案募集を行っています

※<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/gijut/2016/161226ITkiban.htm>

平成 28 年度第 2 次補正予算「経営力向上・IT 基盤整備支援事業(次世代企業間データ連携調査事業)」は、企業間の受発注業務を含む業種の垣根を越えたデータ連携システムを整備し、中小企業の生産性をより一層向上させることを目的としています。

本事業の一環として、データ連携システムを用いた受発注業務等の効果を確認するために、システム連携調査実証のモデルプロジェクトの募集を行っています。

○募集要領

実証プロジェクトの募集は、本事業の受託事業者である特定非営利活動法人「IT コーディネータ協会」が実施します。

- ・特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会ホームページ：
https://www.itc.or.jp/datarenkei/j_publicoffer/

○募集期間

平成 28 年 12 月 22 日(木)～平成 29 年 2 月 3 日(金)まで

○説明会の開催

日時：平成 29 年 1 月 11 日(水)14 時 00 分～

場所：経済産業省内会議室(申込者宛てに別途会場をご連絡します)

- 申込方法：上記の特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会のホームページより申し込みください。

○本発表のお問い合わせ先

中小企業庁経営支援部技術・経営革新課長 高倉 担当者：高橋、爲房、鈴木
電話：03-3501-1511(内線 5351～5) 03-3501-1816(直通)FAX:03-3501-7170

■
■04: イベント情報 (3 件)

◆ [1] 2/7 事業継続計画 (BCP) 策定の体験型講座の開催について

県内の中小企業の皆様が、BCP を策定する際に役立てていただくため、山梨県では、事業継続計画 (BCP) 策定支援等に関する協定に基づき、東京海上日動火災保険 (株) の協力を得て、県内企業を対象とした BCP 策定体験型講座 (ワークショップ) を開催いたします。

体験型講座 (ワークショップ) では、「大きな地震発生など、様々な状況シナリオをリアルタイムで受け取り、その場の判断で指示、行動する訓練」(シミュレーション) を体験して、災害発生時等有事の際やその後の対応に必要なことを参加者自ら気づいていただき、その「気づき」を踏まえて BCP の策定に取り組んでいただきます。

■開催日時：平成 29 年 2 月 7 日 (火曜日) 午後 1 時から 5 時

■開催場所：山梨県中小企業団体中央会 (中小企業会館 4 階) 研修室

■申し込み方法：参加申込書を申込締切 1/31 までに FAXにてお送りください。

- ・開催案内兼申し込み用紙 (PDF : 302KB)

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/shoukosomu/2812/documents/bcwp290207.pdf>

・関連リンク 事業継続計画（BCP）のセミナー等開催情報
<http://www.pref.yamanashi.jp/shouko-kik/jigyokeizokukeikaku.html#bcpkaisai>

■講座の詳細

- 【テーマ】（１）山梨県におけるBCP策定の必要性（60分）
（２）BCP策定ワークショップ（150分）

【講師】東京海上日動火災保険㈱ BCP推進役 谷直樹氏

【内容】

- （１）山梨県でのBCP策定の必要性について説明します。
（２）体験型講座（ワークショップ）を通じ、入門レベルのBCPを策定します。

■対象 山梨県内に本社または事業所のある企業
（業種、事業規模に関係なくご参加いただけます）

■定員 先着20社（最大参加可能人数1社3名）

■参加費 無料

■主催

山梨県/山梨県商工会連合会/山梨県中小企業団体中央会
甲府商工会議所/富士吉田商工会議所/
公益財団法人やまなし産業支援機構/東京海上日動火災保険株式会社

◆ [2] 2/2 「日本から世界へ！農商工連携を活用した海外販路開拓！
～グローバルバリューチェーン構築のためのシンポジウム～」

1. 本件の概要

経済産業省は、「日本から世界へ！農商工連携を活用した海外販路開拓！
～グローバルバリューチェーン構築のためのシンポジウム～」を開催します。
本シンポジウムでは、農商工連携を活用した更なる農林水産物・食品輸出の
促進に向けて、先進的な取組を行う企業、専門家、経験者を招いて現場の
課題やその解決策、そのための支援に資する情報提供を行います。

2. 趣旨

我が国の農林水産物及び食品の国際競争力強化と、企業の事業拡大による
地域経済の活性化を促進するためには、製品の輸出における、生産、加工、
流通、販売の各フェーズで起こる課題とともに、その解決策（ノウハウ）の
共有を図ることが必要です。

そのため、本シンポジウムでは、専門家や経験者を招いて現場の課題やその
解決策を共有することで、次世代農林水産業ビジネスモデルの普及と、海外
への事業展開にチャレンジする事業者の増加に繋げることを目的とします。

3. 開催概要

1) 開催日時・場所

【名古屋】開催日時：平成29年2月2日（木曜日）13：00～16：30

場所：名古屋国際センター別棟ホール 定員230名

【東京】開催日時：平成29年2月13日（月曜日）13：00～16：30

場所：時事通信ホール 定員270名

2) 参加者：生産・加工業者、流通業者など海外展開に興味のある事業者、
それをサポートする自治体、金融機関、支援機関等

3) 内容詳細

・チラシへのリンク

<http://www.meti.go.jp/press/2016/12/20161212006/20161212006-1.pdf>

・農商工連携等によるグローバルバリューチェーン構築事業 公式HP

<http://noshoko-gvc.jp/>

- ・ 基調講演
「クールジャパン戦略における食産業の役割」
A.T.カーニー(株) 日本法人会長 梅澤高明氏
「新たな海外展開の可能性を秘める最先端の食品加工技術」
(一社)日本食品機械工業会 会長
(関東混合機工業(株) 代表取締役会長) 林孝司氏
- ・ 事例発表
- ・ パネルディスカッションなど

- 4) 参加方法：公式ホームページでの事前登録制（無料）
・ 申し込み先リンク：<http://noshoko-gvc.jp/#symposium>

-
- ◆ [3] 平成 28 年度 産総研 材料・化学シンポジウム
2/10（金）21 世紀の化学反応とプロセス
ー快適な生活を支える機能性材料の新展開ー
※ <https://unit.aist.go.jp/ischem/ja/event/20160219.html>

(国研) 産業技術総合研究所 機能化学研究部門は、グリーンサステイナブルケミストリーの推進を目標に、再生可能資源等を用いて、高効率かつ低環境負荷で各種の基礎及び機能性化学品製造し、高度利用するための基盤技術を研究開発しています。

「21 世紀の化学反応とプロセス ー快適な生活を支える機能性材料の新展開ー」についてのシンポジウムを開催します。

■主催：(国研) 産業技術総合研究所

■協賛：(公社) 日本化学会、(公社) 有機合成化学協会、(一社) 触媒学会、
(公社) 化学工学会、(公社) 高分子学会、(公社) 日本生物工学会、
(公社) 日本油化学会、光化学協会、(公社) 新化学技術推進協 (JACI)

■日時：平成 29 年 2 月 10 日（金）12:30～18:30

■会場：つくば国際会議場中ホール 300（茨城県つくば市竹園 2-20-3）

■プログラム

12:30 ポスターセッション

13:30 開会挨拶

13:35 特別講演

「今日を愛する」ライオンの事業戦略：研究開発とマーケティングの二人三脚」

岡野 知道（ライオン株式会社 執行役員・研究開発本部長）

14:20 一般講演

「形状可変なシワ構造とその活用：自在な摩擦制御を目指して」

大園 拓哉（機能化学研究部門）

「刺激に応答する機能性ナノカプセル材料の創製」

小木曾 真樹（機能化学研究部門）

「セルロースナノファイバーのスポーツシューズへの展開」

熊谷 明夫（機能化学研究部門）

15:20 休憩・ポスターセッション

15:50 一般講演

「酵素改変技術をベースとする機能性糖類の生産」
渡邊 真宏 (機能化学研究部門)

「ヒドロシリル化触媒開発の最前線：新しい有機ケイ素材料の創製を目指して」

中島 裕美子 (触媒化学融合研究センター)

「快適な生活を支える製品を生み出す粘土ポリマーコンポジット材料」

蛭名 武雄 (化学プロセス研究部門)

17:10 閉会挨拶

17:30 意見交換会 (つくば国際会議場 3 階小会議室)

■参加費：講演会・ポスターセッション無料
意見交換会 2,000 円 (当日受付で申し受けます)

■問い合わせ先：産業技術総合研究所 機能化学研究部門長室
(Tel: 029-862-6792、E-mail: isc-web-ml@aist.go.jp)

■申し込み方法：登録用フォームよりお申し込みください。
登録フォーム URL : <https://science-cloud.com/aist/form.html>

■申し込み締切：平成 29 年 2 月 3 日 (金)。
当日参加も可能ですが、できるだけ事前のお申し込みをお願いいたします。

□■

■01: プレスリリース (1 件)

平成 28 年度「県民コミュニティーカレッジ事業」×「COC+事業」
やまなし Mirai リーダー『SHINGEN』

第 2 回養成セミナー&第 3 回ワークショップ開催のご案内
<http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp/1554/>

このたび、COC+事業と県民コミュニティーカレッジ事業がコラボレーションします。これからの新しい山梨の未来を築くリーダーとなる 21 世紀の信玄『SHINGEN』。

第 1 回目は、仮想の人物キャラクターを用いたマーケティング手法である「ペルソナマーケティング」に着目し、その理論や具体的な活用事例を紹介しながら、これからの地域づくりやビジネスの現場において活用していくための方策について学びました。

引き続き、第 2 回、第 3 回はこの新たな人材養成のための実践セミナー&ワークショップを開催します。
詳細につきましては、別添チラシをご確認ください。

記

■日 時 第 2 回：平成 29 年 2 月 7 日 (火) 13 時 30 分～17 時 00 分
第 3 回：平成 29 年 2 月 8 日 (水) 13 時 00 分～17 時 00 分

■場 所 山梨県立図書館 1階 イベントスペース

■対象者 大学関係者・県民全般（定員約 200名）

■内 容 第2回：やまなしの課題を「見える化」する【セミナー】
第3回：新たな課題からやまなしの未来を探る【ワークショップ】

■チラシ <http://www.coc-plus.yamanashi.ac.jp/1554/> に掲載

■主 催 山梨大学地域未来創造センターCOC+部門
特定非営利活動法人大学コンソーシアムやまなし

■お問合せ・お申込先 大学コンソーシアムやまなし事務局
TEL 055-244-6707 FAX 055-244-6721
Email info@ucon-yamanashi.jp

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■□■

■□■